

〔ジ

ブ〕

アウトリガ最大張出 (4.5 m) -全周-						
ジブ長さ	23.2 mブーム + 2.8 mジブ					
オフセット	5°		25°		45°	
ブーム角度	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)
82°	3.3	1.4	4.2	1.2	4.8	0.8
75°	6.5	1.4	7.3	1.2	7.7	0.8
70°	8.7	1.2	9.4	1.0	9.9	0.8
65°	10.8	1.0	11.5	0.9	11.8	0.75
60°	12.8	0.9	13.4	0.8	13.7	0.7
55°	14.7	0.8	15.2	0.72	15.5	0.65
50°	16.4	0.62	16.9	0.6	17.1	0.58
45°	18.0	0.48	18.4	0.47	18.6	0.46
40°	19.4	0.38	19.8	0.37		
35°	20.7	0.3	21.0	0.29		
30°	21.9	0.24	22.1	0.23		
25°	22.8	0.18				
A (°)	24~82		29~82		44~82	

A : ブーム角度の範囲 (無負荷時)

アウトリガ中間張出 (3.5 m) -側方-						
ジブ長さ	23.2 mブーム + 2.8 mジブ					
オフセット	5°		25°		45°	
ブーム角度	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)
82°	3.3	1.4	4.2	1.2	4.8	0.8
75°	6.5	1.4	7.3	1.2	7.7	0.8
70°	8.7	1.2	9.4	1.0	9.9	0.8
65°	10.8	0.9	11.5	0.85	11.8	0.75
60°	12.7	0.6	13.3	0.58	13.7	0.56
55°	14.6	0.4	15.1	0.38	15.4	0.38
50°	16.3	0.27	16.8	0.25	17.0	0.25
47°	17.3	0.2	17.7	0.2	17.9	0.2
A (°)	46~82					

A : ブーム角度の範囲 (無負荷時)

アウトリガ中間張出 (2.5 m) -側方-						
ジブ長さ	23.2 mブーム + 2.8 mジブ					
オフセット	5°		25°		45°	
ブーム角度	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)
82°	3.3	1.4	4.2	1.2	4.8	0.8
75°	6.4	1.2	7.2	1.1	7.7	0.8
70°	8.6	0.72	9.3	0.67	9.8	0.62
65°	10.6	0.4	11.3	0.38	11.7	0.36
60°	12.6	0.2	13.2	0.2	13.6	0.2
A (°)	59~82					

A : ブーム角度の範囲 (無負荷時)

〔アウトリガ使用時の注意〕

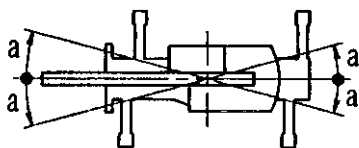
1. ()内は、TR-100M型の値です。
2. 定格総荷重は、水平堅土上においてクレーンを水平に設置した状態での値で、つり具とフック重量を含んだ値です。太線より上はクレーンの強度により定められ、下はクレーンの安定度によって定められています。
3. 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。
4. ジブ作業は、ブームの長さにかかわらずブームの角度だけを基準にしてください。なお、作業半径は、23.2 mブームにジブを装着した場合の参考値を示します。
5. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重から主巻フックの重量を差し引いた値とし、かつ限度は1.4 tです。
6. 自由降下は原則としてフックのみを降下するときを使用してください。
やむをえずつり荷を自由降下する場合には、定格総荷重の1/5を限度とし、急激なブレーキ操作は避けてください。
7. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。
なお、ロープ1本当たりの荷重は主巻1.25 t以下、補巻1.4 t以下です。

ブーム長さ	5.2m	8.8m	12.4m	16.0m	19.6m	23.2m	ジブ、シングルトップ
巻掛本数	8(4)	4	4	4	4	4	1
フックの種類	10トン吊 (4.9トン吊)						1.4トン吊
フックの重量	80kg (75kg)						20kg

()内は、TR-100M

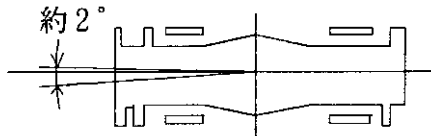
8. 側方域でのつり上げ性能は、アウトリガ張出幅によって異なります。張出幅に応じた性能で作業をしてください。
また、前方・後方域でのつり上げ性能は「アウトリガ最大張出」の定格総荷重ですが、アウトリガ張出幅によってその前方・後方域の範囲(角度a)が異なります。

張出幅	中間張出 (3.5 m)	中間張出 (2.5 m)	最小張出 (1.64 m)
角度 a°	25	15	5



〔アウトリガ不使用時の注意〕

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてタイヤのエア圧が規定圧（8.00 kgf/cm²）の場合の値で、つり具とフック重量を含んだ値です。
スプリングロック使用時の定格総荷重は、上記に加え、スプリングロックシリンダを最も伸長したときの値で、タイヤの強度によって定められています。
実際の作業では、地盤、作業状態等を十分考慮して使用してください。
2. 作業半径は、ブームおよびタイヤのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。
3. スプリングロック無、または不使用の場合は、側方つりはできません。AMLの「前方位置シンボル」が点灯している時に作業を行ってください。
「前方」の範囲は、ブームがキャリヤの前方2°以内です。

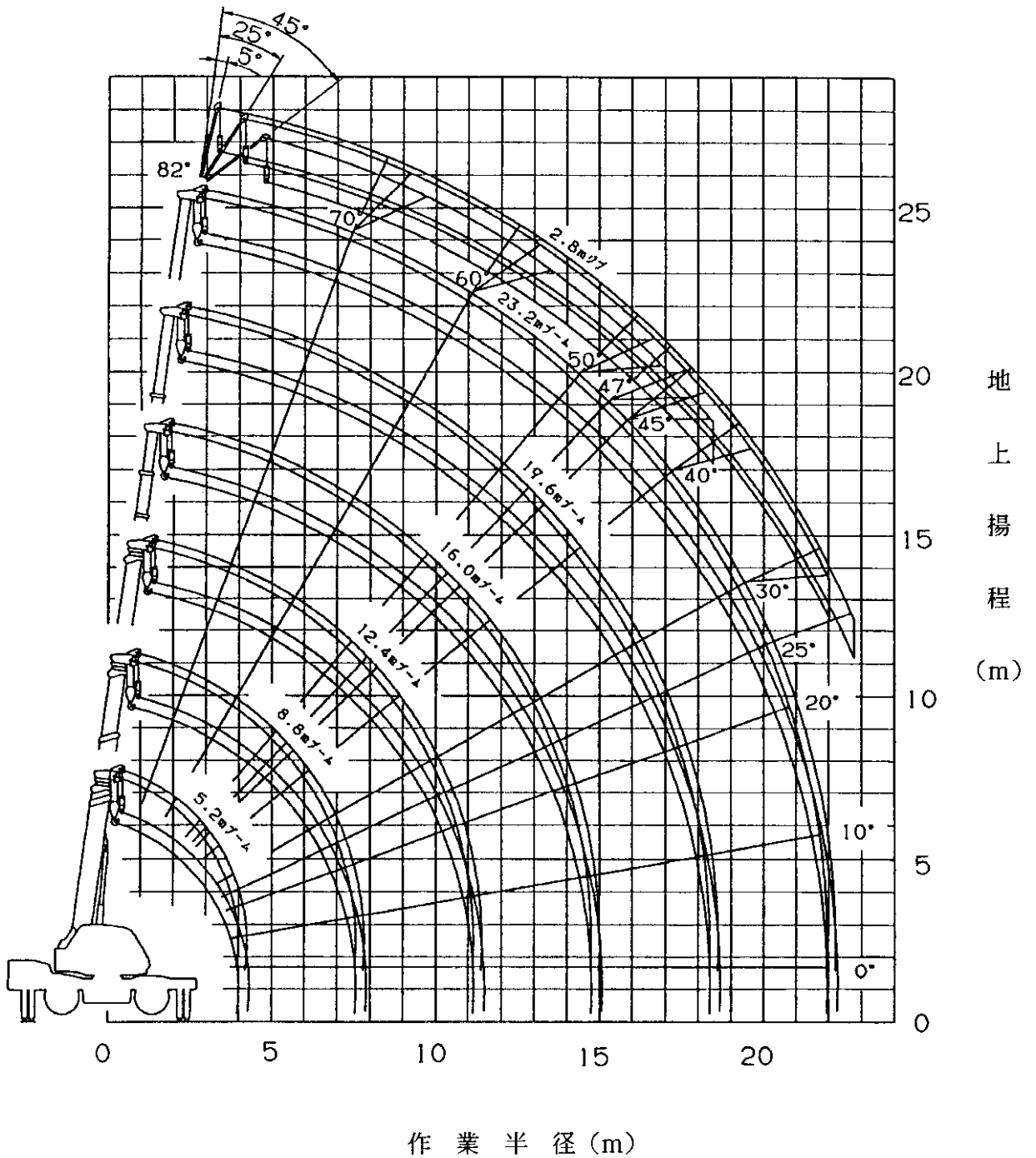


4. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。

ブーム長さ	5.2 m～12.4 m	シングルトップ
巻掛本数	4	1

5. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重から主巻フックの重量を差し引いた値とし、かつ限度は1.4 tです。
6. 自由降下作業、ブーム長さが8.8m（スプリングロック使用時は12.4m）を超えるブーム作業およびジブの使用はしないでください。
7. つり荷走行は、「駆動切換」スイッチを「L/4D」にして行ってください。
8. つり荷走行は、旋回ブレーキをかけ、荷が振れないように地面近くに保持し、1.6 km/h以下で行なってください。特に急ハンドル、急発進、急ブレーキは避けてください。
9. つり荷走行中は、クレーン作業を行なわないでください。

3. 作業半径 - 揚程図



- (注) 1. 上図は、ブームのたわみを含んでいません。
 2. 上図は、アウトリガ最大張出時 (全周) のものです。